

2020年3月31日

株式会社パソナグループで「ESG 経営支援私募債」を成約  
～ESG 評価型ファイナンスとして当行初の発行可能期間付私募債の包括契約締結～

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承<sup>みけ かねつぐ</sup>、以下 当行）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型のファイナンス商品である「ESG 経営支援私募債（以下 本商品）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社（以下、MURC）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、JCR）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客さまの ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な確認を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、株式会社パソナグループ（本社：東京都千代田区、代表取締役グループ代表 南部 靖之<sup>なんぶ やすゆき</sup>）と、本商品に関わる契約を締結いたしました。お客さまの資金調達ニーズに応じてタイムリーに起債できるように、発行可能期間を付与した包括契約スキームとしては、当行初の取組になります。

また、株式会社パソナグループは、MUFG ESG 評価において、「特に進んでいる」との評価である A ランクを取得しました。1976 年の創業以来、「社会の問題点を解決する」という企業理念のもと、誰もが自由に好きな仕事を選択し、一人ひとりの人生設計にあわせた働き方ができる社会の構築に取り組み、人々の心豊かな生活の創造を目指して、常に新たな社会インフラを構築してきた活動が、現在の ESG や SDGs の取り組みに繋がり、ESG 評価の各項目において高い評価を受け、本商品の導入に至りました。

【主な ESG に関する取り組み】

- ✓ E・S・G すべての領域において、機会とリスクを整理し、先進的で多様な取り組みを実施
- ✓ 淡路島での地方創生事業では、地域の持続的な発展を目指して地域社会との共生に取り組み、地元食材を活かしたレストランや遊休資産を活用した事業に取り組んでいる。また昨年には、人々の健康的な生活に欠かせない食に関して、自治体や多くの企業とともに「SDGs 淡路島宣言」を発表。世界食糧デーキャンペーン 2019「Zero Hunger Challenge for AFRICA 食品ロス飢餓ゼロ」(<https://www.jawfp.org/worldfoodday2019/>)にも参画。
- ✓ 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、契約社員・派遣社員を含む従業員の安全確保を目的に新型肺炎対策本部を1月31日に設置。①オフピーク通勤制度、②プライオリティ制度（在宅勤務の奨励）、③メディカルコンシェルジュ、④モバイルカウンセリング、⑤派遣先・委託元企業への在宅勤務・オフピーク通勤の要請、⑥職住近接サポート制度の新設、⑦リスクヘッジオフィスの開設、等を率先して実施

当行では、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現するため、昨年8月にサステナブルビジネス室を設立しました。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し、事業を通じた環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上